



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 CKD株式会社  
 コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	45,160	12.9	4,312	25.6	4,243	21.7	2,924	31.5
27年3月期第2四半期	39,991	12.4	3,434	0.1	3,488	△0.4	2,223	△11.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,880百万円(△8.5%) 27年3月期第2四半期 2,054百万円(△45.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	47.07	—
27年3月期第2四半期	35.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	95,057	65,916	69.3
27年3月期	96,018	65,555	68.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 65,916百万円 27年3月期 65,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
28年3月期	—	13.00			
28年3月期(予想)			—	13.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	5.5	9,000	7.6	9,000	3.0	6,300	4.8	100.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	68,909,449株	27年3月期	69,429,349株
28年3月期2Q	6,977,421株	27年3月期	6,977,294株
28年3月期2Q	62,147,372株	27年3月期2Q	62,452,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成27年11月11日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に加え、円安と原油安による企業業績の回復が期待されました。しかし後半には中国の経済成長に陰りが出たため、低い成長にとどまりました。

海外経済は、高い成長が続いた中国経済の減速が、アジア全体に影響いたしました。一方、米国では引き続き雇用と所得が改善したため、緩やかながらも成長いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高45,160百万円（前年同四半期比12.9%増）、損益面では、営業利益4,312百万円（前年同四半期比25.6%増）、経常利益4,243百万円（前年同四半期比21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,924百万円（前年同四半期比31.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 自動機械部門

主力商品の薬品自動包装システムは、政府のジェネリック医薬品普及促進に伴う設備投資により、売上が増加いたしました。

また、三次元はんだ印刷検査機は、電子化が進む車載用基板向けと情報通信機器向けの売上が増加いたしました。一方、リチウムイオン電池製造システムは、期待された中国の環境対応車用の設備投資が見送られ、売上は減少いたしました。

その結果、売上高は7,646百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は1,136百万円（前年同四半期比47.6%増）となりました。

#### ② 機器部門

国内市場では、微細化への投資が進む半導体製造装置向け、環境対応や電子化が広がる自動車業界向け、中国で工場新設を伴う設備投資が活発化しているFPD製造装置向けなどの売上が増加いたしました。

海外市場では、東アジアは韓国と台湾で半導体製造装置向け、東南アジアは昨年新たに現地法人を立ち上げたインドネシアとベトナムの売上が増加いたしました。米国と欧州でも、半導体製造装置向けと自動車業界向けの売上が増加いたしました。

その結果、売上高は37,514百万円（前年同四半期比15.4%増）、セグメント利益は4,675百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ961百万円減少の95,057百万円となりました。これは主に、有価証券、たな卸資産及び有形固定資産が増加したものの、現金及び預金、売上債権並びに投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,322百万円減少の29,141百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金が増加したものの、仕入債務、短期借入金、長期借入金及び未払従業員賞与が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ360百万円増加の65,916百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加の69.3%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ634百万円増加の12,924百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は5,246百万円（前年同四半期比59.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,300百万円、減価償却費1,963百万円、賞与引当金の増加1,916百万円、売上債権の減少1,595百万円による資金の増加、未払賞与の減少1,804百万円、たな卸資産の増加721百万円、仕入債務の減少996百万円、法人税等の支払額664百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は2,315百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。これは主に、有価証券の減少額1,499百万円による資金の増加、有形固定資産の取得による支出3,730百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は2,042百万円（前年同四半期比70.4%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出385百万円、自己株式の取得による支出700百万円、配当金の支払額810百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、為替レートの変動、欧米の景気動向、中国及び新興国の経済成長の減速などの外部リスクにも注視していく必要があるものの、政府の施策効果から景気は緩やかに回復すると期待されます。

このような状況から、通期の予想につきましては、平成27年5月12日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社（5社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD. については決算日を3月31日に変更し、喜開理（中国）有限公司、喜開理（上海）機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第2四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年9月30日までの9か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は3,019百万円、営業利益は149百万円、経常利益は141百万円、税金等調整前四半期純利益は130百万円であります。

また、セグメントに与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,750	9,354
受取手形及び売掛金	20,577	18,345
営業未収入金	1,938	2,004
有価証券	3,499	5,000
商品及び製品	4,363	4,290
仕掛品	3,229	3,358
原材料及び貯蔵品	11,712	12,209
その他	3,468	3,545
貸倒引当金	△33	△80
流動資産合計	60,507	58,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,537	12,496
その他(純額)	14,313	14,430
有形固定資産合計	24,851	26,927
無形固定資産	817	734
投資その他の資産	9,842	9,367
固定資産合計	35,511	37,028
資産合計	96,018	95,057
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,924	10,484
短期借入金	1,921	1,737
未払法人税等	681	1,187
賞与引当金	138	2,046
その他の引当金	271	235
その他	8,232	6,530
流動負債合計	23,170	22,222
固定負債		
長期借入金	3,490	3,105
その他の引当金	—	83
退職給付に係る負債	206	215
その他	3,596	3,515
固定負債合計	7,292	6,918
負債合計	30,463	29,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,372
利益剰余金	40,611	42,716
自己株式	△4,557	△4,893
株主資本合計	59,807	61,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,453	2,061
為替換算調整勘定	3,371	2,798
退職給付に係る調整累計額	△77	△156
その他の包括利益累計額合計	5,747	4,703
純資産合計	65,555	65,916
負債純資産合計	96,018	95,057

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	39,991	45,160
売上原価	28,040	30,883
売上総利益	11,951	14,277
販売費及び一般管理費	8,517	9,965
営業利益	3,434	4,312
営業外収益		
受取利息	16	22
受取配当金	51	69
その他	129	121
営業外収益合計	197	213
営業外費用		
支払利息	22	26
売上割引	65	70
為替差損	16	169
その他	38	15
営業外費用合計	143	281
経常利益	3,488	4,243
特別利益		
固定資産売却益	7	123
補助金収入	—	66
特別利益合計	7	189
特別損失		
固定資産売却損	6	3
固定資産除却損	27	46
環境対策費	138	83
特別損失合計	171	133
税金等調整前四半期純利益	3,323	4,300
法人税、住民税及び事業税	822	1,180
法人税等調整額	277	194
法人税等合計	1,099	1,375
四半期純利益	2,223	2,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,223	2,924

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,223	2,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	340	△392
為替換算調整勘定	△494	△573
退職給付に係る調整額	△14	△78
その他の包括利益合計	△168	△1,044
四半期包括利益	2,054	1,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,054	1,880
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,323	4,300
減価償却費	1,447	1,963
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,880	1,916
未払賞与の増減額(△は減少)	△1,738	△1,804
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△448	△226
売上債権の増減額(△は増加)	735	1,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,524	△721
仕入債務の増減額(△は減少)	1,521	△996
前受金の増減額(△は減少)	470	68
その他	108	△251
小計	5,776	5,843
利息及び配当金の受取額	66	95
利息の支払額	△22	△27
法人税等の支払額	△2,528	△664
法人税等の還付額	0	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,292</b>	<b>5,246</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	—	1,499
有形固定資産の取得による支出	△2,970	△3,730
無形固定資産の取得による支出	△99	△123
その他	776	39
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,293</b>	<b>△2,315</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△231	△125
長期借入金の返済による支出	△380	△385
自己株式の取得による支出	△0	△700
自己株式の売却による収入	62	—
配当金の支払額	△623	△810
その他	△25	△22
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,198</b>	<b>△2,042</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	△254
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△259</b>	<b>634</b>
現金及び現金同等物の期首残高	9,831	12,290
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>9,571</b>	<b>12,924</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

平成27年5月12日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式699百万円を取得し、平成27年7月27日に当該取得した自己株式の消却を実施しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が335百万円増加し、資本剰余金が364百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,476	32,515	39,991	—	39,991
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	97	97	△97	—
計	7,476	32,613	40,089	△97	39,991
セグメント利益	770	3,965	4,735	△1,301	3,434

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,301百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,316百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,646	37,514	45,160	—	45,160
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	38	38	△38	—
計	7,646	37,553	45,199	△38	45,160
セグメント利益	1,136	4,675	5,812	△1,500	4,312

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,500百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,516百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更に記載のとおり、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社（5社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD. については決算日を3月31日に変更し、喜開理（中国）有限公司、喜開理（上海）機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第2四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年9月30日までの9か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は機器部門で3,019百万円、セグメント利益は機器部門で149百万円であります。

## 4. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
自動機械部門	8,289	+2.6
機 器 部 門	37,445	+13.6
合 計	45,735	+11.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 金額は、販売価格によっております。  
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 （百万円）	前年同四半期比 （%）	受注残高 （百万円）	前年同四半期比 （%）
自動機械部門	9,867	+8.1	10,778	+10.8

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同四半期比（%）
自動機械部門	7,646	+2.3
機 器 部 門	37,514	+15.4
合 計	45,160	+12.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。